

1. はじめに

石井造園は横浜市栄区で造園工事業を営んでいる。従業員わずか11名の企業であるにも関わらず、数多くの幅広いCSR活動に取り組んでおり、その結果として国内外問わず、様々な賞を受けている。例えば、米国に本部のある「Blab」の認証制度である「B-corp」の活動で「Best for THE WORLD 2018」を受賞し、世界の179社に選ばれた。

今回の取材を通して、地域貢献に軸足を置いたCSR活動を念頭に、CSRを業務の一環として捉え、地域を巻き込んだ活気的な取り組みをしている石井造園は、まさに経営理念である「企業活動を通して、幸せを共有する企業」であることを実感した。

2. CSRの取り組み

・「ついでに、無理なく、達成感のある活動」を合言葉に

まずは本業を通じた活動であることを前提とし、一つの活動に対してあまりお金と時間をかけずに、無理なく継続して様々な活動を数多く行うことを心がけている。さらに、自分がやってみて小さなガッツポーズをとれるような達成感のある活動であるように社員全員が意識をしている。

・地域に根ざした活動+地球環境に配慮した活動

みどりアップ計画賛同による「苗木の配布」やお客様（出展者）と地域の住民が直接繋がるイベントである「カサマルシェ」、独自に設立した「緑化基金」などの、地域に根ざした活動に力を入れている。

また、地域環境に配慮した活動という観点からは、6年前から、エネルギーの使用量・CO₂の排出量を継続的に計測しており、3年前からは100%で「カーボンオフセット」をしている。しかし、自社では行っているが、一方でサプライヤーにまで浸透していないという課題もある。パイオニアとして、カーボンオフセットに取り組むサプライヤーを育てていきたい、と社長は語る。

・CSR活動を行うことで得る効果

情報を発信、共有していくことで見られている感が絶えずあり、社内で良い方向に組織が動いている。さらに、受注に繋がっていき、経営として良くなることを社員全員で実感している。そのため、業務の一環としてCSR活動を展開している。

3. 今後のビジョン

社会貢献活動と同時に、業界の地位や価値を上げていく活動（業界貢献活動）に尽力していきたい。働く環境をより良くし、魅力ある業界にしていくために、CSR・SDGs等を活用していきたい。最終的には、業界のためだけでなく、地域社会のためになっていくと期待している。